

議会だより

発行／鹿児島県瀬戸内町議会 編集／議会報編集委員会 〒894-1592 鹿児島県大島郡瀬戸内町古仁屋船津23番地



町制施行70周年記念みなと祭りパレードにて

目次 Contents

- 12 こんなことを決めました 第2回臨時会
- 13 こんなことを決めました 第2回定例会
- 14 第2回定例会 議決結果
- 16 町政を問う！一般質問

Topics

第2回臨時会

令和8年
4月13日

こんなことを
決めました

Topics I

令和8年度瀬戸内町一般会
計補正予算（第1号）につ
いて

【議案第51号】 可決

内容 本予算は、歳出に土木費500万円、民生費186万円を追加し、歳入に繰入金500万円、国庫支出金186万円を追加するものです。

物価高対応子育て応援手当事業について

問 中村議員…令和7年度補正予算でも計上されていたが、今回の令和8年度予算との関係性はどのように

なっていますか。また、これは国会で議決された令和8年度の国補助金としての採択という認識で良いでしょうか。

答 本事業は18歳までの子供一人につき2万円を支給するものです。一般世帯への支給は完了しています。自衛隊員などの公務員は申請によって世帯状況を把握する必要があります。その未支給分を今回の補正で対応します。

国の補助金に関する認識も指摘の通りです。

防衛周辺環境整備事業の財源内訳と予算編成について

問 中村議員…歳入で財政調整基金から500万円を繰り入れています。が、歳出の財源内訳では国庫支出金400万円、一般財源100万円となっています。

この関連性と、基金を取り崩して国庫支出金に計上するような予算編成の妥当性を問いたい。

答 本事業は令和7・8年度の債務負担行為による2カ年事業です。

昨年度、補助金の割り当て以上に工事が進捗し、一般財源で約2,500万円を立て替えていました。今年度、補助金（約1億2,300万円）が確定したため、その立て替え分を補助金へ組み替える処理を行いました。

答 予算編成は複雑ですが、当初予算で一般財源化されていたものを、今回の補正で確定した特定財源（補助金）に置き換えました。

その結果、不要となった一般財源を基金（財政調整基金）に戻す形となっており、予算上の問題はありません。

審議の結果…質疑終了後、討論を経て採決が行われ、起立多数により議案第51号は原案の通り可決されました。

令和8年第2回瀬戸内町議会臨時会 議案・審議・議決結果

議案番号	件名	議員名（議席番号順）										議決結果
		栄克人	里山正樹	伊東さおり	中村洋康	泰山祐一	永井しずの	柳谷昌臣	元井直志	池田啓一	向野忍	
51	令和8年度瀬戸内町一般会計補正予算（第1号）について	○	△	○	○	△	△	○	○	○	—	原案可決

賛成 ○ 反対 × 欠席 △

※向野議長は議長職の為、特別多数議決以外の議案について表決（賛成・反対の意思表示）権はありません。

Topics

第2回定例会

令和8年
6月10日から
6月12日まで

こんなことを
決めました

Topics1

令和8年度瀬戸内町
一般会計補正予算(第2号)

【議案第52号】 原案可決

問 永井議員…地域おこし協力隊起業支援において100万円の補助金の内容について教えてください。

答 協力隊員が任期中または終了後1年以内に起業する際の支援です。

問 現在「あまミキプロジェクト」島の発酵文化を世界へ」として、加計呂麻島を拠点に発酵飲料のミキを使った商品開発を予定している隊員1名が対象です。

問 永井議員…会計年度任用職員の増員について、5名の増員にフェリー切

符売り場の職員は含まれますか。

答 フェリーは特別会計のため、この一般会計の増員には含まれていません。

問 泰山議員…公共ライドシェア実証運行において、加計呂麻地区での実施にあたり、既存事業者への説明やアプリのコストについて伺います。

答 予算通過後に改めて事業者と協議します。

アプリ導入は約470万円を見込みます。ランニングコストを抑える方法を検討します。

問 中村議員…債務負担行為(奄美海運損失補償)の補正額が3億円(約7,000万円増)となった理由について伺います。

答 物価高騰の影響や、構成団体が一つ減ったことによる負担増で、企業側からの要請を考慮した設定です。

Topics2

令和8年度瀬戸内町船舶交通事業特別会計補正予算(第1号)

【議案第57号】 原案可決

問 永井議員…切符売り場の欠員の補充状況について伺います。

答 現在3名体制で1名不足です。

9月補正での調整と補充を予定しています。

問 泰山議員…フェリーかけろまのドック費用における修繕費が2,000万円増になっている理由と、代船時の不便さについて伺います。

答 定期ドックに伴う増額です。

要望 代船時のチケット売り場が遠く利用者の負担が大きい点について、改善を要望します。

Topics3

道路改良(補助金)工事(R7節子2工区)請負変更契約の締結について

【議案第59号】 可決

内容 同路線の別区間において、土砂処分量の増加や防護柵の追加等により、契約金額を約913万円増額し、8,175万円とするものです。

問 泰山議員…土砂運搬処分が当初計画から約3倍に増えている理由は何ですか。

答 当初は切り出した土を盛り土に流用する予定でしたが、前年度までの仮置き分で十分な量が確保できたため、今回発生した分は流用せず処分することになりました。

問 泰山議員…当初計画になかった防護柵を追加した理由は何ですか。

答 改良中の道路と既存道路に高低差が生じ、危険性が確認されたため、安全確保のために設置しました。

Topics4

瀬戸内町立郷土館の設置及び管理に関する条例の一部改正について

【議案第62号】 原案可決

内容 入館制限の例外として、補助犬（盲導犬、聴導犬、介助犬等）を追加し、委員の呼称を「有識者」に改めるものです。

問 動物の項に「等（など）」とありますが、解釈が広くなりすぎないか。

答 現時点では3種の補助犬を想定していますが、将来的な社会情勢の変化に対応できるよう、他自治体の事例も参考に「等」を含めています。

問 補助犬の入館が可能になったことの周知はどうするか。

答 広報すべきか、あるいは問い合わせ対応で進めるか、担当と協議します。

令和8年第2回瀬戸内町議会定例会 議案・審議・議決結果

議案番号	件名	議員名（議席番号順）										議決結果
		栄克人	里山正樹	伊東さおり	中村洋康	泰山祐一	永井しずの	柳谷昌臣	元井直志	池田啓一	向野忍	
承認2	瀬戸内町税条例の一部を改正する専決処分事項の承認について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	承認
承認3	瀬戸内町国民健康保険税条例の一部を改正する専決処分事項の承認について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	承認
52	令和8年度瀬戸内町一般会計補正予算（第2号）について Topics1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	原案可決
53	令和8年度瀬戸内町巡回診療施設特別会計補正予算（第1号）について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	原案可決
54	令和8年度瀬戸内町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	原案可決
55	令和8年度瀬戸内町介護保険特別会計補正予算（第1号）について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	原案可決
56	令和8年度瀬戸内町後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第1号）について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	原案可決
57	令和8年度瀬戸内町船舶交通事業特別会計補正予算（第1号）について Topics2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	原案可決
58	道路改修（補助金）工事（R7節子Ⅰ工区）請負変更契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	可決

賛成 ○ 反対 × 欠席 △

※向野議長は議長職の為、特別多数議決以外の議案について表決（賛成・反対の意思表示）権はありません。

議案番号	件名	議員名（議席番号順）										議決結果
		栄克人	里山正樹	伊東さおり	中村洋康	泰山祐一	永井しずの	柳谷昌臣	元井直志	池田啓一	向野忍	
59	道路改良（補助金）工事（R7節子2工区）請負変更契約の締結について Topics3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	可決
60	瀬戸内町世界自然遺産つなごうクロウサギ基金条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	原案可決
61	瀬戸内町立図書館の設置及び管理に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	原案可決
62	瀬戸内町立郷土館の設置及び管理に関する条例の一部改正について Topics4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	原案可決
63	瀬戸内町文化財保護条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	原案可決
同意 1	瀬戸内町農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	同意
同意 2	瀬戸内町農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	同意
同意 3	瀬戸内町農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	同意
同意 4	瀬戸内町農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	同意
同意 5	瀬戸内町農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	同意
同意 6	瀬戸内町農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	同意
同意 7	瀬戸内町農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	同意
同意 8	瀬戸内町農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	同意
同意 9	瀬戸内町農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	同意
同意 10	瀬戸内町農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	同意
64	令和7年度（繰越）防災行政無線（同報系）屋外拡声子局改修工事請負契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	可決

町政を問う！

一般質問
7名の議員登壇

一般質問とは議員が町政全般にわたり、町の考えを問うものです。

通告1 柳谷 昌臣 議員・・・・・・・・・・・・・・・・ P15

●商工業振興について【町長】 ●農林水産業振興について【町長】 ●物価高騰対策について【町長】

通告2 里山 正樹 議員・・・・・・・・・・・・・・・・ P15

●網野子集落における仮設トイレ実証実験と地域活性化について【町長】
●未利用となっている町有財産の今後の整理・活用について【町長】
●公共工事におけるランク制度と地域建設業の維持・育成について【町長】
●地域振興事業及び公共施設運営の持続可能な在り方について【町長】
●せとうちラジオ放送終了後の情報伝達体制について【町長】

通告3 中村 洋康 議員・・・・・・・・・・・・・・・・ P16

●第三セクター奄美アイランドドローン株式会社の解散に伴う精算について【町長】
●地域コミュニティの活性化と暮らしやすい地域づくりへの取り組みについて【町長】
●定住対策の課題である住宅環境の整備について【町長・教育長】

通告4 永井 しずの 議員・・・・・・・・・・・・・・・・ P17

●網野子集落入口にて行ったトイレの実証実験の結果について【町長】
●町内施設における喫煙所について【町長】 ●日本郵便との連携について【町長】
●瀬戸内町の持続可能な介護に関して【町長】

通告5 泰山 祐一 議員・・・・・・・・・・・・・・・・ P17

●随意契約（西古見地区再エネ導入事業）について【町長】
●町の財産（著作権）管理方針について【町長】 ●公共施設計画について【町長】
●総合計画について【町長】

通告6 栄 克人 議員・・・・・・・・・・・・・・・・ P18

●ゴミのポイ捨て問題について【町長】 ●清水体育館への空調設備（クーラー）設置について【町長・教育長】
●水道施設の老朽化対策について【町長】 ●職員間の情報共有の強化及び来庁者対応の充実について【町長】

通告7 伊東 さおり 議員・・・・・・・・・・・・・・・・ P19

●フェリーの安定航路維持と島民の負担について【町長】 ●加計呂麻ターミナル及び周辺整備について【町長】
●公共トイレのバック等の手荷物置きについて【町長】
●加計呂麻地域から参加する八月踊りの交通費助成及びサポートについて【町長】 ●重機購入について【町長】



柳谷 昌臣 議員



商工業振興について

問 起業家支援補助金制度の要綱の見直しについて、見解を伺います。

答 補助要件である一人以上の雇用を撤廃したこと、創業に加え、新たな付加価値を生み出す事業承継も補助対象としたことです。

問 町内の各事業所における高齢化・担い手不足などへの対策について伺います。

答 事業者向けセミナーや求職者向けセミナー、雇用促進・マッチングなどの事業を行っています。

農林水産業振興について

問 本町の重点作物の品目と、今後の取り組みについて伺います。

答 鹿児島県園芸振興協会大島支部および大島本島さとうきび生産対策本部との連携と役割分担のもと、栽培技術や流通・販売などの課題解決に向けた研修会などを定期的に実施します。

問 古仁屋市街地への農作物直売所の設置について、考えを伺います。

答 自給栽培を目的に家庭菜園などに取り組んでいる方がどの程度いるのか、まずは実態調査に努めたいと思います。

問 ホノホシ地区の旧クルマエビ養殖場の活用について伺います。

答 これまでに数社が興味を示しましたが、具体的な事業化には至っておりません。引き続き、幅広く柔軟

な視点での企業誘致を念頭に置きつつ、鹿児島県や瀬戸内漁業協同組合などの関係機関と密に連携を図りながら、民間事業者に対して本町の施設情報を積極的に提供するなど、跡地の有効活用に向けて粘り強く模索してまいりたいと考えております。

物価高騰対策について

問 新たな物価高騰対策について伺います。

答 国の補正予算も計上されているところであり、エネルギー高騰対策の補助金や重点支援地方交付金なども活用し、関係課とも連携しながら適切に対応してまいります。



里山 正樹 議員



網野子集落のトイレ実証実験と地域活性化について

問 仮設トイレ実証実験の結果と必

要性をどのように捉えているか。
また、無人販売所など、現地で起こり始めている人の流れや地域の動きをどのように認識しているか伺います。

答 利用者は一日平均6.2人であり、トイレ単体での設置は困難ですが、にぎわいを見せる農産物直売所などの交流拠点に付随する施設として、整備を検討します。

販売所は、高齢者の生きがいの創出や地域活性化の拠点として多面的な効果を秘めており、運営組織の構築も含め、伴走支援を行ってまいります。

未利用町有財産の整理・活用と、地域建設業の育成について

問 廃校施設や旧職員住宅などの増加に対し、地域のニーズを踏まえた売却・活用をどのように進めるか。また、物価高騰や人手不足にあえぐ地元建設業の維持・育成に向けたリンク制度について伺います。

答 老朽化の状況や維持コストを総合的に判断し、活用可能な施設は移住・定住対策などに活用し、利用が見込めない施設は、解体を含めて計画的に整理します。

建設業のランク制度については、物価高騰に対応した見直しや国の支援制度の活用を積極的に検討し、業界の維持に努めます。

公共施設の柔軟な利活用 とラジオ放送終了後の対応について

問 「加計呂麻島展示体験交流館」を、修学旅行を誘致するための宿泊施設へ転用できないか。

また、ラジオ放送が終了に至った経緯と、その後の情報伝達体制について伺います。

答 交流館は開設から10年が経過し、用途変更が可能であるため、柔軟な利活用について調査・研究します。ただし、民宿などの既存宿泊事業を圧迫しないよう、慎重に検討します。

ラジオ放送は、委託業者の解散に

より終了しましたが、現在は防災行政無線やSNS、LINEなどを活用し、確実に情報を届ける体制を整えています。



中村 洋康 議員



奄美アイランドドローン (株)の清算について

問 本事業には2億円余りの町費が支出され、約3,500万円の地方債の返済が令和15年まで続く状況にあります。そこで、本事業をどのように評価しているのか伺います。

答 本事業においては、人材育成などの効果があつたと認識しています。今後はタスクフォースを設置し、ドローンの有効活用に努めていきます。

意見 答弁では、人材育成以外の具体的な成果は示されず、投入された町費や、今後も続く地方債の返済負

担に見合う事業効果について、明確な説明はありませんでした。大変残念です。

地域運営組織の創設意向 について

答 本町は小規模集落が多く、人口減少や高齢化が進む中、集落機能の維持が困難になりつつあります。そのため、複数の集落や校区など、広域的な単位で結成される地域運営組織の必要性は高いと考えています。国の支援制度も検討した上で、西方エリア以外でも進めることができるか検討したいと考えています。

特定地域づくり事業協同 組合の創設について

答 行政主導の組織づくりではなく、事業者が主導して進めていく必要があります。行政は伴走者として、必要な支援やサポートを行っていきます。

提言 設立から運営までにかかる経費に対する国・県の財政支援が充実し、市町村への職員派遣も可能にな

るなど、制度の活用要件も大幅に緩和されています。こうした状況を前向きに捉え、早期に設立することを提言します。

定住対策の課題である住 宅環境の整備について

問 廃校となった学校の教員住宅を、町営住宅として活用する意向があるのか伺います。

答 町営住宅として活用する可能性も含め、有効活用について検討したいと考えています。

意見 空き家および教員住宅の活用については、一元的な管理を速やかに進め、定住施策における住宅対策として、スピード感のある対応を期待します。



永井 しずの 議員



網野子集落入口のトイレ 実証実験結果と整備計画 について

問 今年2月から3月に実施したトイレ使用状況の実証実験の結果と、今後の計画について伺います。

答 1日平均の利用者は6.2人であり、建設費や維持管理費を考慮すると、単体での設置は困難です。今後は、週末や祝日ににぎわいを見せる地域主体の交流拠点や農産物直売所に付随する施設としての整備について、関係課と連携し、前向きに検討していきます。

公共施設における分煙対策の徹底について

問 公園や広場など、子どもが利用する共用スペースに近い喫煙所において、煙を完全に遮断する計画はな

いか伺います。

答 現状、風向きなどにより煙が流れる可能性があることを重く受け止めています。現地の状況を確認した上で、煙を完全に遮断するための構造改善や設置場所の変更、改修費用などを総合的に勘案し、利用者が安心して利用できる環境づくりに努めます。

日本郵便との行政連携と地域支援について

問 集落支援や高齢者支援など、町内郵便局と行政との連携に関する今後の具体策について伺います。

答 郵便局員を「集落支援員」として活用する案や、熱中症予防のための「クーリングシエルト」として郵便局内を開放することについて、現在協議中です。郵便局のネットワークを生かした住民サービスの向上や安全確保に向け、早期の協定締結をめざし、検討を進めます。

持続可能な介護体制の構築と事業所支援について

問 介護人材の確保・定着に向けた支援や、配食サービス事業者への緊急支援の進捗状況について伺います。

答 介護職・医療職を対象とした奨学金返済支援制度は、居住要件などの課題を整理しながら、現在策定中です。配食事業者に対しては、物価高騰対策としての支援をすでに実施しており、今後も国や県の制度を活用しながら、持続可能な介護体制の維持に努めます。



泰山 祐一 議員



随意契約（西古見地区再エネ事業）について

問 随意契約の理由書に「包括連携協定を結んだため」とありますが、

本町には、同協定に関するガイドラインがあるのか伺います。

答 現在のところありません。今後、検討します。

問 電気代の削減効果は、施設全体の約1.3%です。なぜ、年間約146万円程のリース契約を結んだのか。また、事前にシミュレーションを行ったのか伺います。

答 単なる電気代の削減ではなく、実証的な取り組みや防災力の強化などを含め、総合的に判断して決定しました。

問 その判断を根拠として、ほかの集落が同様の事業を希望した場合、町は対応できるのか伺います。財政上、すべての集落に展開することは困難ではないでしょうか。

答 実証的な事業であり、すべての集落に展開するものではありません。実証結果を見ながら判断します。

問 年間約20万円の節電効果に対し、リース料は年間約146万円です。差し引き約126万円が、毎年町の負担となります。原則5年以内とされる「長期継続契約」を、町長決裁による特例で15年間とした合理的な判断に疑問が残ります。なぜ、最も電気代がかかる入浴施設に太陽光発電設備を接続しなかったのか伺います。

答 入浴施設とほかの施設では、必要な電力量に大きな差があるため、今回は入浴施設以外への配電を実証の対象としました。

意見 事前の調査が甘すぎる。近隣市町村では、十分な調査を行っています。15年後には太陽光パネルが無償譲渡されますが、将来的な維持管理などの負担も生じます。

特例を適用する際は、慎重なシミュレーションを行い、その根拠となる資料の提示をお願いしたい。

総合戦略について

問 計画の効果検証と公表が行われていません。交付金などに直結する極めて重大なリスクですが、現在の状況を伺います。

答 公表できていない部分があり、現在、「企業版ふるさと納税」の受け入れをいったん停止しています。8月下旬の策定後に、受け入れを再開したいと考えています。

意見 このような事態になったことは、望ましい状況ではありません。役場内部で済ませるのではなく、町民に対して状況をしっかりと説明する姿勢を持っていたいただきたいと思えます。



栄 克人 議員



ごみのポイ捨て問題への対策と条例の制定について

問 道路沿いやガードレール付近へのごみの放置が深刻です。景観を維持するため、マナーの向上を促す条例の制定や、奄美大島5市町村による広域連携について、考えを伺います。

答 マナーからルールへと踏み込んだ「ポイ捨て防止条例（仮称）」の制定に向けて、準備を進めています。5市町村による連携についても、大島地区衛生組合などを通じて協議していきます。

清水体育館への空調設備（クーラー）の設置について

問 猛暑による熱中症のリスクや、災害時に避難所として使用する際の安全確保を考慮し、空調設備を早急に整備すべきではないか伺います。

答 近年の酷暑を受け、避難者の健康と安全を守るための空調設備の重要性は高いと認識しています。防衛省の「民生安定助成事業」など、町の負担が少ない有利な補助制度の活用を検討しており、関係機関との間で、早期整備に向けた協議を進める必要があると考えています。

水道施設の老朽化対策と将来の安定給水について

問 老朽化が進んでいる水道施設・水道管や水源確保の状況をどのように把握しているのか伺います。

答 施設台帳システムで経過年数などを一元的に管理しており、緊急度の高い箇所から順次更新を行っています。

ます。新たな国の補助金の活用も視野に入れ、有利な条件での事業執行に努めます。現時点では、緊急に新たな水源を確保する必要はありませんが、状況に応じた計画に基づき、安定給水を維持していきます。

職員間の情報共有の強化と来庁者対応の充実について

問 質の高い行政サービスを提供するため、課を越えた情報共有やワンストップ対応、職員研修の実施状況と今後の強化策について伺います。

答 全職員が情報を共有できる掲示板システムを運用し、接遇やクレーム対応に関する研修を継続して実施しています。今後はデジタル化を推進し、対応の迅速化や、課をまたぐ案件への連携・調整体制を強化することで、信頼される役場づくりをめざします。



伊東 さおり 議員



フェリー航路の安定維持と島民負担について

問 新船「せとなみ」の稼働状況と、今後の運賃改定の方針について伺います。他自治体では大幅な島民割引が導入されていますが、本町でも生活インフラとして、島民の負担軽減を図るべきではないでしょうか。

また、ドック入りの期間中に生じる不便の解消や、車両予約の電話がつながりにくい現状の改善を求めます。

答 新船は安定した運航が可能で、利用者からおおむね好評です。収益の改善に向け、令和9年度に運賃改定を予定しています。島民割引については、国や県との協議が必要ですが、要望を伝えていきたいと考えています。

予約対応の改善に向けて窓口を増やし、ドック入りの期間についても、利用者の利便性を考慮して調整します。

高齢者福祉と生活支援の充実について

問 高齢者向け公共交通無料パスの対象年齢を、現行の80歳から引き下げるべきではないでしょうか。

また、ハブの船内への持ち込みが全面的に禁止され、島民が現金収入を得る機会が失われています。島内での買い取りや、写真と尾のみを提出する方法で対応できないか伺います。

答 無料パスの対象年齢の引き下げについては、他自治体の事例や財政面を考慮しつつ、今後の検討課題とします。

ハブの船内への持ち込みは、安全上の理由から例外なく禁止されていますが、島民からの要望を受け、新たな買い取り方法などを調査・研究します。

地域インフラ整備と伝統行事への支援について

問 海の駅のトイレへの荷物置き場の設置や、災害に備えた加計呂麻島への重機の配備を求めます。

また、「八月踊り」に参加する集落への交通費・車両運搬費の全額支援や、島民が参加しやすい時間帯に会議を開催することは可能か伺います。

答 トイレには、簡易的な荷物置き場を順次設置します。重機の配備については、管理体制を含め、今後調査・研究します。

「八月踊り」に参加する集落の交通費については、予算の範囲内で最大限助成します。会議の開催時間についても、可能な限り調整します。

議会だより（9月号） みなさまの声を 聞かせてください

町公式ウェブサイトで会議録公表とアンケートご協力をお願い

瀬戸内町議会事務局では、住民のみなさまへの迅速な情報発信と透明性の向上を目指し、令和6年度より町公式ウェブサイトにて、各種会議の記録を新たに公表しています。

これまで、予算審査特別委員会や決算審査特別委員会をはじめ、文教厚生、総務経済といった各常任委員会、さらには特別委員会などの会議内容を「要旨記録」として順次公開してまいりました。

これらの会議記録をより充実させ、より良い情報発信につなげるため、町公式ウェブサイトでは「満足度アンケート」を実施しています。

回答方法…各会議記録ページに掲載されている二次元コードから簡単に回答いただけます。所要時間は1分です。

内容…会議記録の内容が分かりやすかったかなど、みなさまのご感想をお聞かせください。

今後、さらなる情報公開の強化を目指し、今年度も新たな会議録公表を目標に取り組んでいます。

みなさまからいただいた貴重なご意見は、今後の情報発信の改善に役立ててまいります。

ぜひ、町公式ウェブサイトへアクセスいただき、会議録のチェックとアンケートへの温かいご協力をお願い申し上げます。



アンケートは
こちらから

まちの未来が見える 議会傍聴においでください

次回の定例会は 9月2日の予定です

インターネットで生中継。
瀬戸内ケーブルテレビの録画放送でもご覧いただけます

本会議の様子は、映像でもご覧いただけますのでスマートフォンやタブレットでご視聴される場合は、右の二次元コードにカメラを向けることで視聴サイトへと繋がります。またパソコンでご視聴される方は、YouTubeで「瀬戸内町議会」と検索することでご覧いただけます。



議会報編集委員会

委員長	中村 洋康
副委員長	栄 克人
委員	永井 しずの
委員	元井 直志
委員	柳谷 昌臣
委員	向野 忍
委員	義永 将晃